

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の676億9,378万5千円に比べ、28億1,318万9千円、4.2%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	平成20年度 当初予算額 (A)	平成19年度 6月補正後 (B)	比較	
			増減 (A) - (B)	伸び率 (A) - (B) / (B)
病院事業	21,938,451	21,910,170	28,281	0.1
水道事業	33,155,954	27,825,019	5,330,935	19.2
工業用水道事業	10,986,115	13,290,928	△2,304,813	△17.3
電気事業	4,426,454	4,667,668	△241,214	△5.2
合計	70,506,974	67,693,785	2,813,189	4.2

(注) 平成19年度当初予算は骨格予算のため、6月補正後ベースで比較してあります。

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民の健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 病床数 1,286床
(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	362,265人	993人
外来患者数	377,304人	1,553人

イ. 収益的収支 収入 17,944,582千円 資本的収支 収入 2,015,413千円
支出 19,255,117千円 支出 2,683,334千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益141億2,716万8千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益38億1,741万4千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費99億7,322万2千円、薬品費などの材料費34億7,781万7千円、事業運営経費30億9,480万9千円、施設・器械備品などの減価償却費14億2,765万4千円等の医業費用180億8,094万8千円、支払利息などの医業外費用10億3,926万5千円、及び退職給与引当金に係る特別損失1億3,490万4千円です。以上の結果、収支差引で、13億1,053万5千円の当期純損失を計上

しております。

次に、資本的収入は、県費負担金8億2,641万3千円、企業債11億8,900万円です。

一方、資本的支出は、志摩病院の非常電源改修工事等のための病院増改築工事費で2,612万9千円、各病院の医療機器購入など資産購入費4億9,926万5千円、企業債償還金20億1,014万円、投資有価証券購入費1億100万円及び看護師修学資金貸与費に係る長期貸付金4,680万円です。

平成20年度の主要事業としましては、病院事業の在り方検討委員会の答申等を踏まえながら、中長期の新たな経営計画（平成20～22年度）を策定するほか、医師・看護師の確保・定着に取り組みます。

（２）水道事業会計

水道事業は、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量137,700m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量169,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

また、北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を、また、伊賀地域の水需要に対応するため、川上ダムを水源とした伊賀広域水道建設事業をそれぞれ実施します。

ア．業務の予定量

年間総給水量 79,330,626m³

1日平均給水量 217,344m³

イ．収益的収支	収入	11,701,972千円	資本的収支	収入	18,386,775千円
	支出	10,415,352千円		支出	22,740,602千円

収益的収入は、給水収益112億3,589万3千円とその他営業収益を合わせた営業収益112億3,964万6千円及び一般会計補助金3億7,439万9千円等の営業外収益4億6,232万6千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用81億9,408万6千円と支払利息等の営業外費用22億1,926万6千円が主なものです。以上の結果、収支差引12億8,662万円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、伊賀広域水道建設事業等に充当する企業債140億3,510万円や一般会計出資金30億4,019万円及び国庫補助金11億8,236万5千円が主なものです。

資本的支出は、伊賀広域水道建設事業等の建設改良費71億6,145万円と企業債等の償還金155億7,915万2千円です。

ウ．主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業、伊賀広域

水道建設事業を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H20	1,905,401	1,905,401	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H20	502,972	502,972	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～22	35,736,002	1,469,594	目標日量18,000m ³
伊賀広域水道建設事業	H10～20	22,329,885	3,077,509	目標日量28,750m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 91社
- (イ) 年間総給水量 228,123,530m³
- 1日平均給水量 624,995m³

イ. 収益的収支 収入 6,662,609千円 資本的収支 収入 2,686,607千円
支出 6,056,980千円 支出 4,929,135千円

収益的収入は、給水収益58億4,859万3千円とその他営業収益を合わせた営業収益65億6,967万2千円と受取利息等の営業外収益9,293万7千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用51億2,095万9千円と支払利息等の営業外費用7億8,402万1千円が主なものです。以上の結果、収支差引6億562万9千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、一般会計出資金13億6,403万5千円や企業債12億円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費27億6,098万1千円と企業債等の償還金21億6,815万4千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H20	286,740	286,740	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H20	1,826,119	1,826,119	既設設備の改良
多度工業用水道改良事業	H20	96,904	96,904	既設施設の更新

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。

平成20年度は、平成16年の台風21号の影響により壊滅的な被害を受けた長発電所の発電を再開することとしています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 351,935,211kWh

イ. 収益的収支 収入 3,270,001千円 資本的収支 収入 71,484千円
支出 3,492,695千円 支出 933,759千円

収益的収入は、電力料24億2,090万2千円等の営業収益24億2,322万円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益8億1,571万2千円及び受取利息3,106万6千円等の営業外収益3,106万9千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用20億8,858万4千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用10億9,851万9千円及び支払利息等の営業外費用3億359万2千円が主なものです。

以上の結果、収支差引2億2,269万4千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、川上発電所建設事業に充当する国庫補助金323万5千円と、長期貸付金償還金6,824万9千円です。

資本的支出は、三瀬谷発電所改良事業等の建設改良費3億3,314万円と企業債の償還金6億61万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業のほか、川上発電所建設事業を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
三瀬谷発電所改良事業	H20	199,414	199,414	既設発電所の設備改良
川上発電所建設事業	H11～20	1,678,000	10,785	最大出力1,200kW

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。